



2020年ロードレースに関する重要なお知らせ

2019年10月11日

MFJ 会員各位

2020年1月1日から適用となる規則変更など重要事項をお知らせします。

●項目

1. 新設される ST1000 クラスの車両規則
2. 全日本 ST1000 及び ST600 クラスもリヤセーフティライトの取付けが義務となります。
3. 全日本 J-GP3 クラスに若手育成の「GP3 チャレンジクラス」が新設されます。
4. 18歳以下のライダーはエアバッグ式プロテクション着用が義務となります。
5. 【予告事項】2021年から脊柱プロテクション/胸部プロテクションは CE 規格品であることが義務付けられます。

1. ST1000 クラス

2020年全日本ロードレース選手権に新たなクラス「ST1000」が誕生いたします。
改造範囲の制限やワンメイクタイヤ制度などで JSB1000 との違いを明確にし、全日本では JSB との混走ではなく、独立したレースとして開催いたします。
次代の JSB1000 や世界 Moto2 で通用するライダーを輩出するクラスとなることを期待しています。
地方選手権においてはインターナショナル ST1000、ナショナル ST1000、インターナショナル JSB1000 の3クラスを設け、レースは参加台数によって混走（賞典別）で開始いたします。
※車両規則の暫定案を別紙に全文記載しますのでご確認願います。

2. リヤセーフティライトの装備義務化クラスの追加

全日本 JSB100 クラスに追加して、全日本 ST1000 クラス及び ST600 クラスに参加する車両には、リヤセーフティライトの装備が義務付けされます。

【装備規格及び運用】

2019年 MFJ 競技規則付則4「ロードレース競技規則・20-5」、及び付則8「JSB1000 技術仕様 7-14-6・リヤセーフティライト」に記載された規則を基本とする。



3. GP3 チャレンジクラス

2020 年全日本ロードレース選手権 GP3 クラス内に若手育成を目的とするクラスを新設します。
このクラスで9月半ばまでのランキング1位の選手は2021年 IDEMITSU アジアタレントカップの
年間出場選手に推薦されます。

【概要】

全日本 J-GP3 クラスは、現行の J-GP3 クラスに加え、若手育成クラスとして「GP3 チャレンジ」さらに、「GP3 特別参加枠※」の3構成のクラス構成として、若手選手がベテラン選手と実践を通してスキルアップを行い、海外で活躍できる選手を育成するプログラムになります。

※ 「一定の技量が認められたロードレースジュニア、ロードレース国内選手が特別に全日本選手権に参加できるプログラム」

【参加資格】

2020 年全日本 GP3 チャレンジの参加資格

年 齢 : 13 歳~19 歳(2020 年 1 月 1 日現在の年齢)

資 格 : MFJ ロードレース国際ライセンス所持者 (FIM ライセンスの参加者は適用しない)

車 両 : NSF250R

車両の仕様 : HRC NSF250R チャレンジ技術仕様

・最低重量は完全装備のライダー重量と車両重量の合算重量 145 kg が適用される。

・ゼッケンベース色は赤地に白文字

4. 18 歳以下のライダーへのエアバッグ式プロテクション着用義務化

2019 年版国内競技規則で予告した通り、2020 年より 18 歳以下のライダーへエアバッグ式プロテクションの着用が義務付けられます。(MFJ に登録されたエアバッグ式プロテクション)

エアバッグ式プロテクション

1) 18 歳以下の選手に対するエアバッグ使用義務 (2020 年 1 月 1 日より)

18 歳以下の選手は、MFJ に登録されているエアバッグを使用(着用)しなければならない。

車検時にエアバッグが MFJ 登録製品であることを確認する。車検時に複数のエアバッグ(仕様または型式違いでも可)を登録することも認められる。

※18 歳以下とはレースウィークの予選日時点で満 18 歳以下の者をいう。

※適用は MFJ 公認競技会(全日本選手権・地方選手権)。承認競技会は主催者の特別規則による。

2) エアバッグの使用基準

エアバッグが転倒等で展開した場合、当該ライダーについては走行に支障が無い、またはエアバッグ膨張部が取り外せると言う事を条件に、その時点で走行しているセッションについてのみ継続して走行することを認める。ただし、当該ライダーは次セッション走行前に新たな(展開していない)エアバッグを装備し、車検での再確認を受けた上で、次セッション以降の走行を行わなければならない。

★2019 年 9 月現在登録されたエアバッグ式プロテクションリストを別紙に記載しますので確認願います。
新規登録が追加された場合は都度ホームページで示します。



5. 【予告事項】 脊柱プロテクションと胸部プロテクションの規格

装着を義務付けている脊柱プロテクション（脊髄パッド）と胸部プロテクション（チェストガード）に製品の規格を設けていませんでしたが、2021年1月1日からは以下の規格を取得している製品であることが義務付けられます。※CE規格適合製品にはCEマークが表示されています。

（ロードレース競技規則10項ライダーの装備）

●脊柱プロテクション

2021年より、脊柱プロテクションはCE規格「EN1621-2（Level 1またはLevel 2）」適合品の使用が義務付けられる。「EN1621-2」規格品以外の製品は使用ができなくなります。

エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格「EN1621-2」適合品の脊柱プロテクションが装備されている場合は、脊柱プロテクションの装備は免除される。

●胸部プロテクション

2021年より、胸部プロテクション（チェストガード）はCE規格「EN1621-3（Level 1またはLevel 2）」適合品の使用が義務付けられる。「EN1621-3」規格品以外の製品は使用が出来なくなります。

エアバッグ一体式でエアバッグ本体にCE規格「EN1621-3」適合品の胸部プロテクション（チェストガード）が装備されている場合は、胸部プロテクション（チェストガード）の装備は免除される。

【CE規格とは】

EU（欧州連合/ヨーロッパの地域統合体）加盟国で製品を流通・販売するために必要な国際規格制度で、EU各国で定められる安全基準をまとめたEU圏の共同規格です。

以上